

(別紙5)

整理番号 2024P-143
補助事業名 2024年度 児童、高齢者、障がいのある人等が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動、調査・研究等 補助事業
補助事業者名 (福) 恩賜財団済生会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

社会福祉法人等の企業が、学校の部活動を補完する機能と子育て期の就労をサポートする機能として、すべての市民が集まり交流しうる多世代・多様性型の「居場所」や「託児付きワーキングスペース」を商業施設等の日常的な場にハード（施設）・ソフト面で整備するため以下の検討を行う。

- ・多様な人たちの居場所づくりや子育て期の就労等サポート機能を形成する上での利用者、地域、運営者の課題抽出、必要な機能・サービスの実証・検証
- ・社会福祉法人を中心とする地域内外の民間や地域住民による協力体制の構築
- ・持続可能な運営モデルの作成

(2) 実施内容

①商業施設における子どもの居場所づくりに向けた実証研究等

- ・過年度事業における取組の進化に向けた実証
- ・新たな取組の可能性検討に係る実証

②商業施設における子育て期の就労等サポート機能強化に向けた実証

- ・託児機能の担い手発掘
- ・託児付きワーキングスペースの継続利用と安定的な仕事供給に向けた可能性検討
- ・託児付きワーキングスペースの実現可能性の検討

③ソーシャルインクルージョンのさらなる方策の推進に向けた検討

- ・ウエルネス会議の開催
- ・成果報告会の運営

2 予想される事業実施効果

小樽市に於いてあらゆる人が利用しやすい商業施設内に年齢・性別・学校・障がいの有無・貧困など様々な垣根を越えたすべての子どもの「居場所」機能があり、地域住民等とともに「運動・スポーツ」「文化・芸術」「学び」「体験」等の質の高いプログラムを利用でき、多様なニーズに合った活動が展開される。

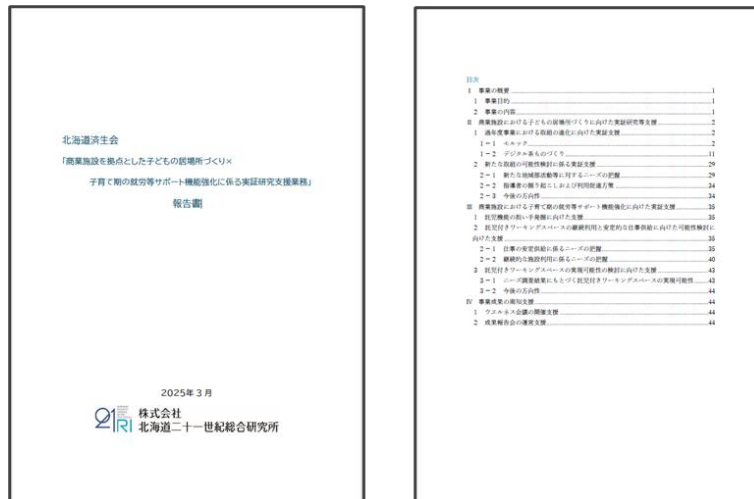
また、子育てを理由に就労や趣味等を諦めていた親が安心して就労や趣味等の時間を確保することができる「子育て期の就労等サポート」機能により、新たな働き方の創出、労働力確保、子育てを理由とした離職の抑制につながる。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

北海道済生会 「商業施設を拠点とした子どもの居場所づくり×
子育て期の就労等サポート機能強化に係る実証研究支援業務」 報告書



(北海道済生会ホームページ、済生会ホームページ)

[2024 JKA補助事業報告 - 北海道済生会ホームページ](#)

[公益財団法人JKAの競輪とオートレースの補助金による令和6年度調査・研究等補助事業が完了 | 済生会ホームページ](#)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 恩賜財団済生会（オンシザイダンサイセイカイ）

住所： 〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

代表者： 理事長 炭谷 茂（スミタニ シゲル）

担当部署： 事業部 総合戦略課（ジギョウブ ソウゴウセンリヤクカ）

担当者名： 企画員 藤澤 厚子（フジサワ アツコ）

電話番号： 03-3454-3076

F A X： 03-3454-5576

E-mail： a.fujisawa@saiseikai.or.jp

U R L： <https://www.saiseikai.or.jp/>